

伝える広報から、 伝わる広報へ

平成19年1月の3町合併と共に創刊した『広報みやま』が、皆さんに支えられ、今月で200号の節目を迎えました。市民の皆さんに「一番親しまれている情報発信手段として、16年間発行している『広報みやま』。今回の特集では、広報紙の制作過程や広報紙を支えてくださる市民ボランティアの皆さんを紹介します。

☎ 秘書広報課 秘書広報係 (TEL 64・1501)

Making 「広報みやま」ができるまで

毎月発行している広報紙は、どのように作られているのでしょうか。皆さんの手元に届くまでの制作過程を、初公開です。

編集会議 01



基本24ページの紙面に、各課から出された原稿を割りつけます。「読んでみたい」と思ってもらえるよう、特集テーマや取材するイベントについて打ち合わせ、構成や表紙を決定します。

取材(インタビュー・撮影) 02



職員が現場に出向き、取材をします。インタビューでは、出演者の思いや人柄も伝えられるように丁寧にお話を聴くことを心掛けています。撮影では、自然な表情が出るような雰囲気作りを意識しています。

編集作業 03



取材内容や市役所からのお知らせを、見やすく興味を引くように配置します。難しい表現や行政用語、専門用語ばかりになっていないかなど、伝わりやすい表現を心掛け、UDフォントや写真、イラストを使って伝わる工夫をしています。

※UDフォント…誰にとっても「見やすく」「読みやすく」デザインされた書体です。



▲平成19年2月に発行した、広報みやま創刊号。当時は日本語ワープロソフト「一太郎」で作成していた。

校正 04



正確な情報を届けるために

できた記事は各課の担当者に渡して校正します。広報担当者も校正するほか、読み合わせをして読みやすい文章になっているかを確認。「記者ハンドブック」を使いながら、文字や表現に誤りがないかもチェックします。

印刷・納品 05



市民の皆さんのもとへ

広報発行日の約1週間前に、印刷業者へデータを提出します。その後、印刷・納品された1万3600部の広報紙は、シルバー人材センターから行政区を通して皆さんの手元に届けられます。

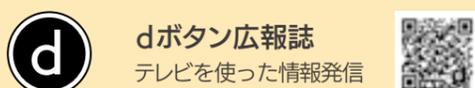
市民の皆さんと市役所の架け橋に

広報紙の役割は「市の情報を市民の皆さんにどれだけわかりやすく伝えられるか」だと考えています。そこで、大切にしているのが、読み手に「伝わる」広報紙にすること。みやま市がどんなまちで、どんな人が暮らし、どんなまちづくりをめざしているのかがきちんと伝わる広報紙を、市民の皆様とともにつくっていきたくと思っています。皆様に、読みたいと手に取っていただけるような、広報紙を目指して努力してまいります。

もっと
「伝わる広報」を目指して

知りたい情報をタイムリーにお届け

災害・防災に関する情報やイベント、新規事業などの市政情報をいち早く発信します。



スマホで読む「広報みやま」

市ホームページでは、広報みやまを発行日に公開しています。家に届くより早く、どこにいても読むことができます。



ラジオで聞く「広報みやま」

コミュニティ放送局「FMたんと」(周波数79.3MHz)では、広報紙読み上げ番組「広報みやま たんと版」や市の取り組みやお知らせを市職員などが自ら紹介する「教えて!みやま市」を放送しています。放送はアプリでも聞くことができます。





福岡県ワンヘルス啓発施設「ルフラン」が市内初認定

「バイオマスセンタールフラン」が、福岡県ワンヘルス啓発施設に認定されました。ワンヘルスを学び、体験できる施設を福岡県が認定するもので、県内では4例目です。ルフランは、従来型のごみ処理施設とは違い、生ごみなどをバイオマス資源として循環するための施設で、分解時に発生するメタンガスを利用して発電を行い、施設内で活用しています。また、生ごみが発酵した際に生じる液体は「液肥みもの」として水稲やナスなどの栽培に利用され、環境に配慮した農業の推進にも役立っています。

ルフランはどなたでも見学可能(要予約)で、見学時にはガイドが「ワンヘルス」と「資源循環」の関係性をわかりやすく説明いたします。また併設の「ルフランカフェ」では、液肥で育った農産物を使ったランチを提供するお店もあり、手軽に地産地消のおいしい料理を楽しむことができます。



▲ルフラン

福岡県ワンヘルス啓発施設「ルフラン」が市内初認定



#みやまワンヘルス

ワンヘルス宣言をされている事業者をご紹介します。一緒にワンヘルスの輪を広げていきましょう!



天然酵母みやまパンえん (瀬高町大江)

ワンヘルス宣言事業者登録のきっかけは

人にも環境にも優しい商品作りを心掛けていて、ワンヘルスへの参加を通して、地産地消やまちづくりに貢献してきたいと思いました。

ワンヘルスの取り組みを教えてください

地産地消が一番です。作れる野菜は自分で作り、作れないものは地元産を使い、生ぶどうを使った天然酵母、国産小麦などにこだわっています。また、フードロスを出さないように、賞味期限の長いラスクを作ったりして工夫しています。

今後、どのように推進していきますか

これからも、安心して食べられる無添加のパンを通して地元の子供たちに喜んでもらいたい。また、廃棄商品が少なくなるようにSNSで商品残数を提供できないか検討中です。



須崎ふとん店 (高田町濃施)

ワンヘルス宣言事業者登録のきっかけは

人、生き物、地球環境の健康が影響し合っているというワンヘルスの理念に賛同し、活動推進に努めようと考えました。

ワンヘルスの取り組みを教えてください

アトピーや喘息などアレルギーに悩んでいる方のための様々なことを自社サイトで紹介しています。ワンヘルスについてはブログで書いたり、リンクを貼ったりしています。業務では、できるだけコンパクトに梱包する工夫をして環境コストの削減に努めています。

今後、どのように推進していきますか

健康には快適な睡眠が一番。ごみの削減や循環型社会などのワンヘルスの理念を大事にしながら、快適な布団を提供し、人の健康に貢献していきたいと思っております。

Braille & Voice
「点字」と「声」で届ける広報

瀬高朗読の会 (音声 CD)

7人のメンバーが所属しています。録音するときは、写真やイラストに説明を加えたり、アクセント辞典を見ながらなまりや方言に注意するなど、聴く人に伝わるように心掛けています。貸し出し用のCDを図書館に置いているので、ぜひご利用ください。

問 同グループ 藤吉 (Tel.67-1236)



朗読ボランティアしおり

(音声カセットテープ)

小学校などで読み聞かせもしています。カセットテープを作るときは、送っている人の希望に応じて読み上げる記事を選ぶなどの工夫をしています。カセットテープを希望する人がいる限り、テープを作っていきます。

問 同グループ 山城 (Tel.67-0409)

ろくてんくらぶ (点字)

3人のメンバーで、点字用の原稿を作る人、原稿を確認する人に役割分担して作っています。点字表記辞典を見るなど、正しい情報を伝えるために間違いがないよう確認しています。点字広報を作りながら、私たちが広報紙をじっくり見る良い機会になっています。

問 同グループ 野田 (Tel.090-5937-7964)

広報紙は下記の施設にも置いています。ぜひご利用ください。

- ▶ 公共施設 みやま市役所(各支所含む)、市立図書館、MIYAMAX、山川市民センター、まいピア高田
- ▶ 駅 JR瀬高駅、JR南瀬高駅、JR渡瀬駅、西鉄開駅、西鉄江の浦駅、道の駅みやま(観光案内所)
- ▶ 郵便局 瀬高郵便局など、簡易郵便局を含む10か所